mapple
地図がえがく、その先へ

スーパーマップル・デジタル for Android
活用マニュアル

本文中の略称
SMDA＝スーパーマップル・デジタル for Android(スマートフォン・タブレット用)
SMD＝スーパーマップル・デジタル(パソコン用)

2025年6月現在

CONTENTS

準備	Android端末にAndroidの「Playストア」からアプリをインストール	2
	Android端末に地図・検索データやパソコンで作成した「カスタム情報」を格納する	2
基本操作	「SMD」と「SMDA」の表示イメージの比較	4
	Android端末の操作と起動方法	5
各種機能	目的のエリア地図を表示する[住所・駅・周辺の検索]	6
	「カスタム情報」の活用	8
	GPSを活用する	10
	クラウド環境を活用する＆情報を記入、保存する	11
	SMDA形式の既存のカスタム情報ファイルに情報を追加、編集、上書き保存する	13
	SMD形式のカスタム情報ファイルに、「SMDA」で情報を追加、編集、上書き保存する	14
	「SMDA」の情報を「SMD」に追加する	15
	新規情報を「SMD」に追加、編集する	17
設定	Android端末側の各種設定＆地図が表示できない場合	18

※画像イメージは開発中のものも含みます

©MAPPLE, Inc.

■Android端末にAndroidの「Google Playストア」からアプリをインストール

※スーパーマップル・デジタル for Android(略称：SMDA)

① 「Google Playストア」にて「マップル」で検索し、「スーパーマップル・デジタル for Android 」をインストールしてください。

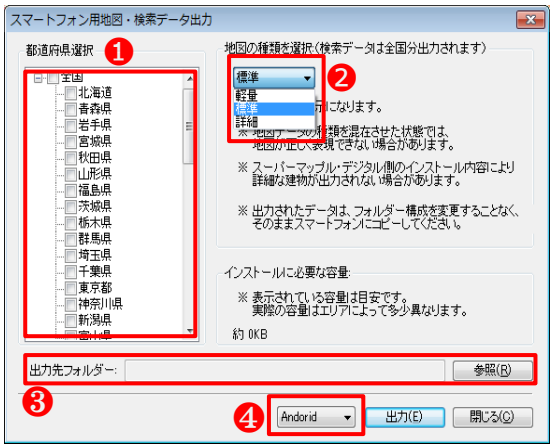
> ※旧スーパーマップル・デジタルfor Androidがインストールされている場合は「上書き」して下さい。
> アプリを「アンインストール」する時は、必ず「Data」フォルダーのバックアップを取って下さい。

二次元バーコードからのインストールはこちら

■Android端末に「地図・検索データ」やパソコンで作成した「カスタム情報」を格納する。

① 「SMD」からスマートフォン用地図データを出力します。パソコンで「SMD」を起動し、[出力]の[スマートフォン]を選択します。

② Android端末に収録したい都道府県名に☑を入れ選択し、[出力]をクリックします。



❶都道府県を選択すると、必要容量が表示されます。

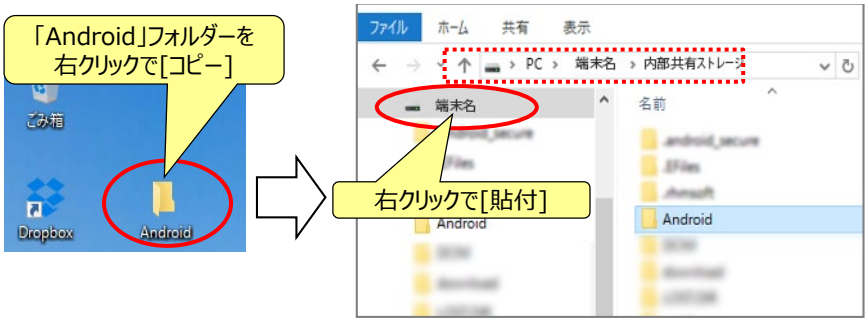
❷出力する地図の種類を選択
・軽量:情報をシンプルにした表現で、容量が小さくなります。
・標準:一般的な情報を表現しています。
・詳細:「等高線」「家形」まで表現、容量が大きくなります。
＊検索用の「住所、駅」データなども同時に出力されます。

❸出力先フォルダー　　例：「Desktop」に出力
地図を出力するフォルダー先は任意に設定します。
＊出力された地図・住所・駅データ・地図スタイルなどは「Android」フォルダーに出力されています。
※地図スタイルはSMD15以降のバージョンで出力対応
❹[Android]になっていることを確認し、[出力]します。

③ ②で出力した「Android」フォルダーを「右クリック」し、「内部共有ストレージ」に「Android」フォルダーを「貼り付け」ます。※P19も参照してください。

【重要】パソコンとAndroid端末のマニュアル参照し、パソコンとUSBで接続してください。
接続すると、Android端末は、パソコン側で「機種名」や「リムーバブルディスク」などとして認識表示されます。

例：パソコンに接続されたAndroid端末の表示



Androidフォルダーの内容
[Data]
情報を格納するフォルダー
[Map]
地図が格納されるフォルダー
[smdvp.db]
検索用の住所・駅データなどのファイル
[Styles]
地図の表示意匠フォルダー
※[Styles]はSMD15から出力対応

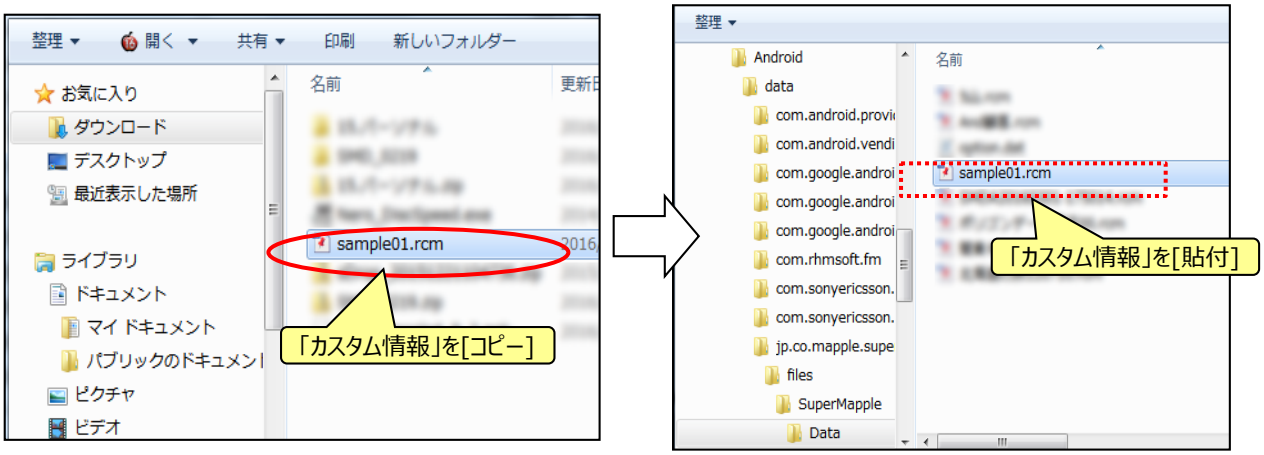
これで、Android端末に地図、地図スタイル、住所、駅データなどが格納されます。

※地図・検索データは、PCから出力したフォルダ構成のまま内部(共有)ストレージにコピーしてください。
(Android 11以降では外部ストレージでは動作しません。)
※「内部(共有)ストレージ」にすでにAndroidフォルダーが存在する場合、上書きの警告が表示されますが、そのまま上書きで進めてください。

④「カスタム情報」をAndroid端末に格納します。 ★https://smd.mapple.net/manual/pdf/sample01.rcm
sample01.rcm がダウンロードできます。

パソコンで作成した「カスタム情報(rcmファイル)」を選択し、Android端末の
Android→data→jp.co.mapple.supermapple→files→「Super Mapple」の「Data」に[貼り付け]します。

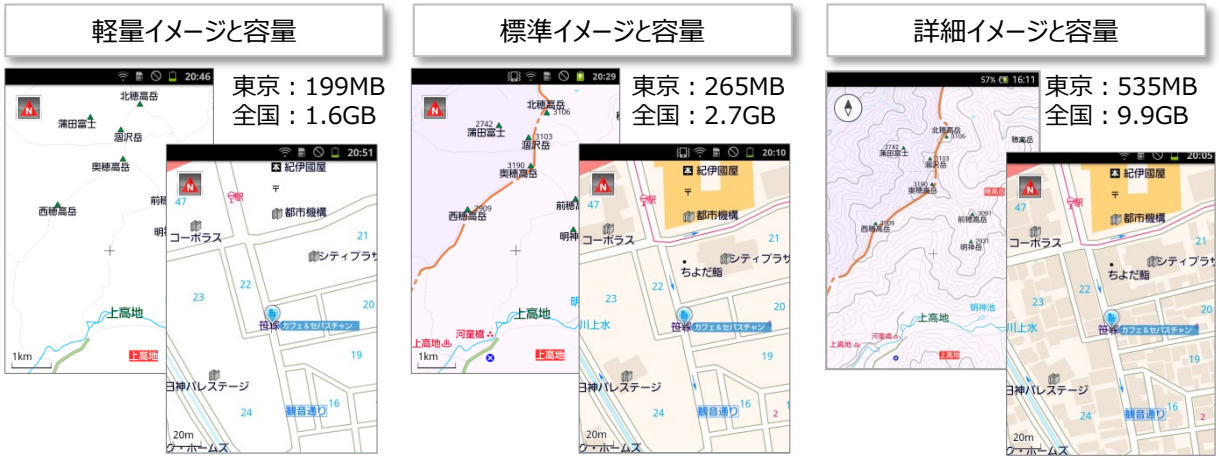
例：sample01をAndroid端末に[貼り付け]



※ご注意：取込み可能な1つの「カスタム情報」ファイルの容量は **20MBまで** となります。

⑤ 地図やカスタム情報の格納が終わりましたら、パソコンとAndroid端末とのUSB接続を解除し、取り外してください。

※図1　地図種類の参考イメージ



快適に使うために

Android端末の特性

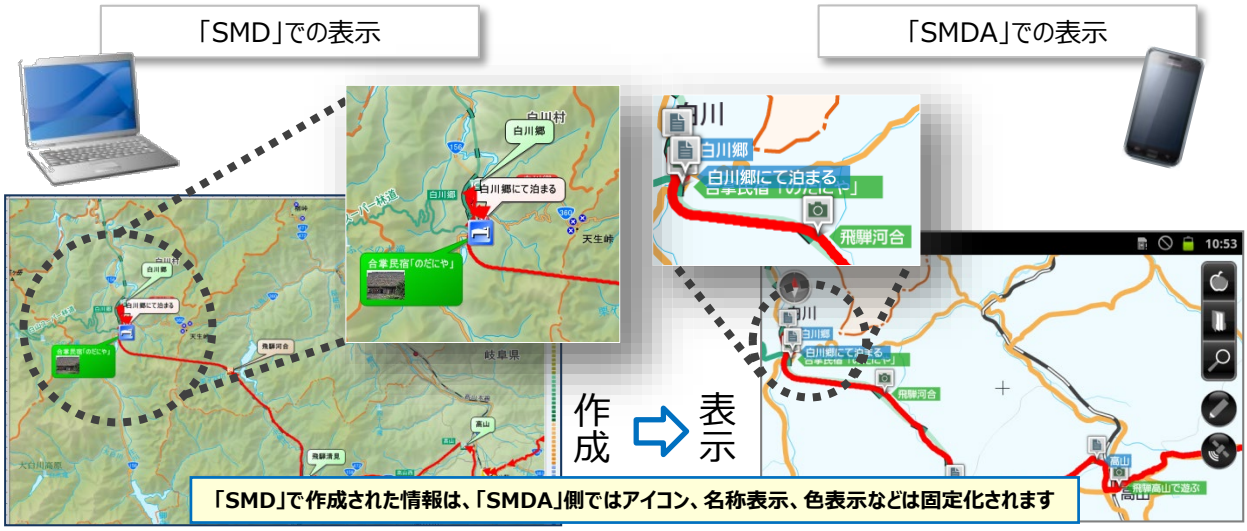
いろいろなアプリを起動したり、映像などを見たりした後はメモリー不足を起こし、次のアプリが起動できないことがあります(アプリが完全終了せず裏で動いていることがあります) その際は、以下の方法で問題が解決する場合があります。

- **・アプリを完全終了させる**：本体の[メニュー]ボタンから[設定]の[アプリケーションの管理]で、該当アプリの詳細画面で「停止」ボタンを押す
- **・メモリーをクリアする**　：電源ボタンを一度切り、しばらく待ってから電源を入れ直す

【ご参考】無料アプリで、メモリー内の空き容量を回復してくれるアプリが各雑誌などで紹介されています。
お客様の使用環境に準じたアプリをご確認の上、ご使用することをお勧めいたします。

©MAPPLE, Inc.

■カスタム情報の「SMD」と「SMDA」の表示イメージの比較



■「スーパーマップル・デジタル(SMD形式)」と「スーパーマップル・デジタル for Android(SMDA形式)」の表示、保存の差異

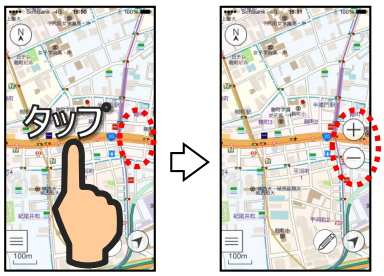
RCM使用項目	SMD形式データ	Android端末での表示・保存(SMDA形式データ)	
		SMD形式を表示した場合	保存および記入
基本情報	フキダシ線対応	注:フキダシ線は未対応	注:フキダシ線は未対応
名称	○	○	○
フリガナ	○	○	メモ欄、または記事欄にまとめて記入、保存
住所	○	○	
郵便番号	○	○	
TEL	○	○	
チェック	○	○	
評価	○	○	
順番	○	○	
E-mailアドレス	○	○	
日時	○	○	
コメント:テキスト	○	○	
【写真】	○(複数可能)	○(bmp,jpg,png,gif対応、ただし1画像に限る)	○(bmp,jpg,png,gif対応、ただし1画像に限る)
【オブジェクト】	○	×	×
【Web】	○(複数可能)	○(ただし1URLに限る)	○(ただし1URLに限る)
【色と線】	○	○	×(保存、記入はできない)
【表示内容(設定)】	○	△(設定不可、固定)	△(設定不可、固定)
【備考】	○	×	×

※SMD形式で作成された「サブフォルダー」は、SMDA形式ではすべて「メインフォルダー」に集約されます。

■Android端末の操作と起動方法

① 「スーパーマップル」をタップし、地図を表示させます。また、画面を「長押し」し地図表示スタイルの変更も出来ます。

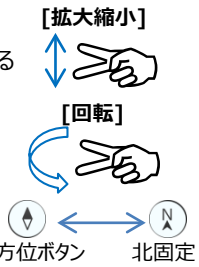
② 地図面をタップすると[＋,－]ボタンが表示されます。



拡大縮小は[＋,－]ボタンの他、
下記の方法でも可能です。
[拡大縮小]2本の指を広げる、狭める
[拡大]ダブルタップする

[回転]2本の指を回転させる
[移動(スクロール)]指でスライドする

[北固定/解除]方位ボタンをタップする



地図表示できない場合（P20参照）
OSのバージョンや各メーカーのSDカードの仕組みなどに若干違いがあり、設定が必要になります。

地図が表示されている状態から、[ホーム]ボタンを２回タップします。

③ をタップするとメニューボタンが表示されます。

「SMDi」の各メニューボタンの役割

[ホームに戻る] ホーム登録されている位置を表示

[ホームの登録] 自宅など基準となる位置を登録、削除

[目的地の設定] 現在地から目的地方向へ矢印を表示

[検索マーカーを表示] 検索地点にピンのマーカーを表示

[住所検索] 住所で地図移動

[鉄道駅検索] 駅の名称で地図移動

[周辺検索（飲食店）] 地図の中心位置から500m範囲の飲食店を表示

[カスタム情報の検索] 地図に表示されているカスタム情報を検索

[カスタム情報を開く] 格納されているカスタム情報を地図に表示

[カスタム情報の保存] 地図に書き込まれた情報を保存

[GPSログを開く] GPSログを地図に表示

[すべて削除] 地図に表示されている情報を画面から削除、**データは削除されません。**

[共有] Cloud と連携**（※通信環境が必要）**

[設定] GPS情報などの設定をします（P18参照）

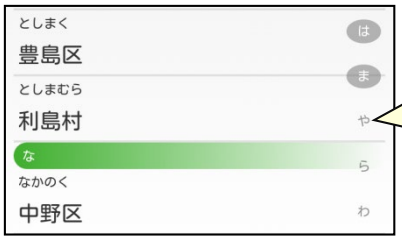
[ヘルプ] オンラインで使い方を表示**（※通信環境が必要）**

■目的のエリア地図を表示する[住所・駅・周辺の検索]

① メニューの[住所検索]をタップ、「都道府県」から順番にタップします。

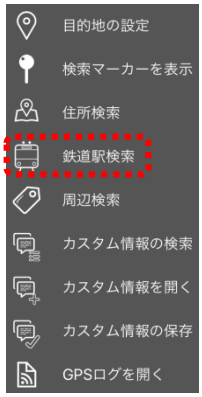
※ご参考

丸で囲まれた
[ふりがな見出し]を
タップすると指定行まで
ジャンプできます



丸で囲まれていない
このような表示は
該当する住所が
存在しないので、
ジャンプすることが
できません

② メニューの[鉄道駅検索]をタップし、「都道府県」から順番にタップします。あるいは で「よみがな」を入力・検索し、駅名を選択します。

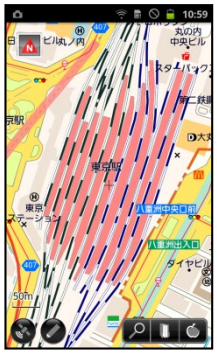


都道府県を選択

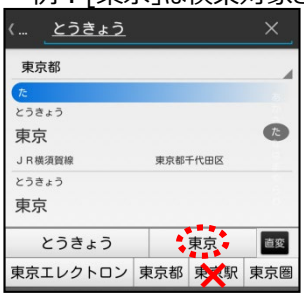
OR

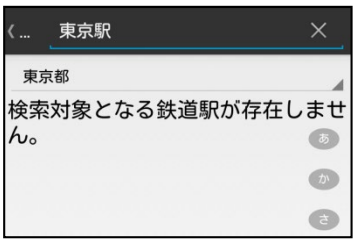
「よみがな」を入力

「確定」のためのタップします。

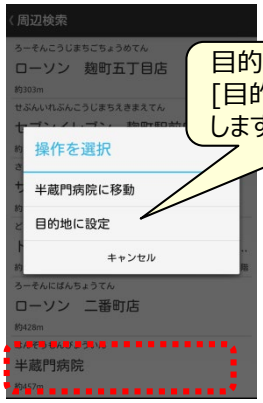


【注意】「漢字」で検索する場合は、「○○駅」を選択しないでください。
例：[東京」は検索対象となりますが、「東京駅」は対象となりません。





③ ≡ メニューの[周辺検索]をタップし、地図表示中心から500m範囲の飲食店、コンビニ、病院を検索します。



目的の場所をタップし[目的地に設定]を選択します

※[移動]を選択すると、単純に地図が該当エリアに移動します。

現在地から目的地に矢印が表示されます

④ 目的地を解除します。

目的地を設定すると赤色の方向矢印が表示されます。解除するには、≡ メニューから[目的地の解除]をタップします。

解除するには、[目的地の解除]をタップ

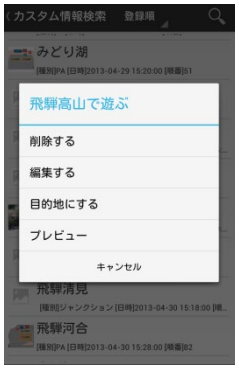
■「カスタム情報」の活用

例:P.3の「sample01」を使用します

① メニューの[カスタム情報を開く]をタップし、［カスタム情報一覧］から「sample01.rcm」を選択します。

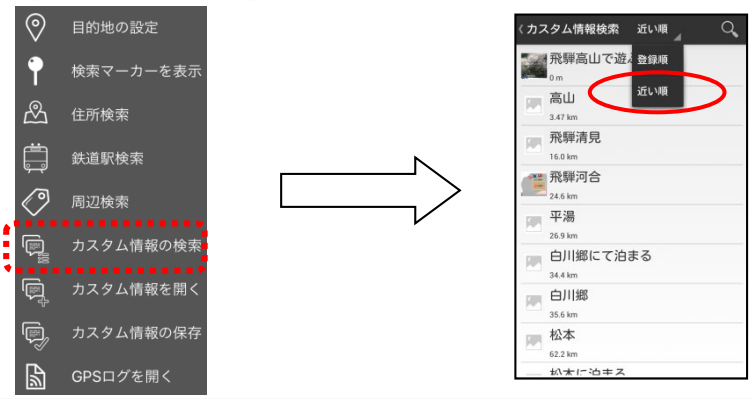
② [カスタム情報の検索]をタップすると、取り込んだ情報が表示され、スクロールして、該当する名称をタップすると、地図が移動します。また、 をタップし[名称］を入力すると該当の「カスタム情報」が検索されます。

③ 該当の名称を「長押し」するとメニューが表示され、編集などが出来ます。

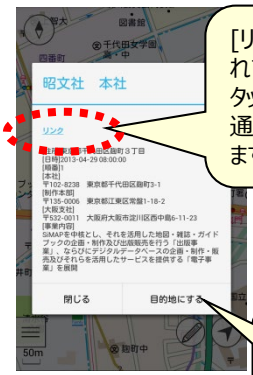


[削除]	地図上の表示を削除します。 保存されている情報(データ)は削除されません。
[編集]	既存情報をベースに、新規情報を作成できます。 ＊編集方法はP.13を参照
[目的地に設定]	移動時の目的に設定できます。 現在地から目的地まで、直線的に矢印が表示されます。
[プレビューを表示]	情報の内容を表示します。

④ [カスタム情報の検索]をタップし、「近い順」を選択すると、取り込んだ情報が「地図の中心」から近い順に表示されます。



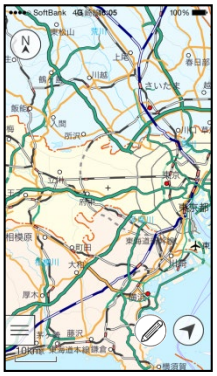
⑤ 表示されている「カスタム情報」のアイコンを「長押し」すると内容が表示されます。



[リンク]にURLが埋め込まれています
タップすると、インターネット通信にて情報が表示されます

行動時の目的地にも設定できます

⑥ 地図上に表示している「カスタム情報」などの表示を削除します。
[メニュー]から[すべて削除]をタップします。
※取り込み時に使用した「カスタム情報」ファイルなどの**データそのものは削除されません**。



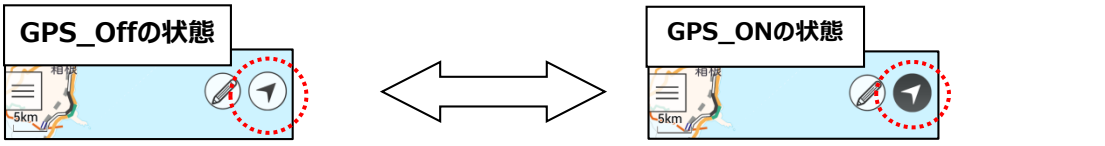
表示を削除するには
[すべて削除]をタップ

※データはそのものは
削除されません

※ご注意
データそのものを削除するには、
Android端末側のファイルを削除します。

■GPSを活用する

① をタップするとGPS位置情報を取得し、現在地を表示し、 をタップするとGPSが、停止されます。
GPSログも記録する場合は設定（参照P18)で「ログを保存」ONにしてください。

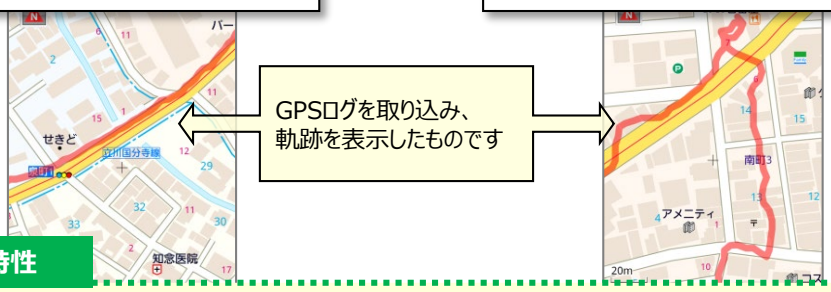


GPS取得状況イメージ

位置情報取得できず(補足中)	3つの衛星から位置情報取得 ただし、高さデータは不正確	4つ以上の衛星から位置情報 取得。高さデータも取得

●●は受信感度が低く位置確定できず、●は感度が良く位置確定できる状態を表します。

GPS精度が良い状態の軌跡　　**GPS精度が悪い状態の軌跡**

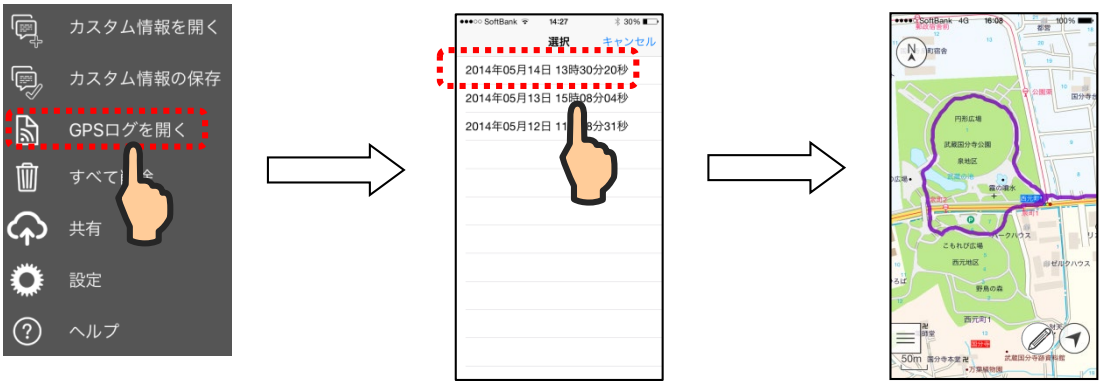


GPSの特性

スタート時のGPSの電波は、公園などの障害物が少ない空間では良く取得できます。狭い空間の所では、取得に時間がかかり、トンネル、室内では電波の取得はできません。
また、一度取得をすると、再取得の時は速やかに取得できます。ビル街などでは、窓ガラスなどの影響により電波が反射し精度が狂うことがあります。

【重要】位置情報(GPS機能)の取得時間や精度は、ご使用の環境に依存します。
GPS取得まで「数分」かかる場合や、室内、ビルの谷間などではGPSが取得できない場合があります。

② 取得したGPSログを地図上に表示する時は、[GPSログを開く]をタップします。



GPS取得中に地図移動した場合

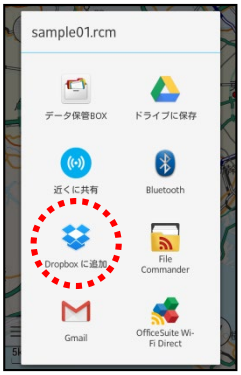
画面下に 標高 68.6m アイコンが表示されます。

アイコンをタップすると、GPS取得時の位置に戻ります。

■クラウド環境を活用する

① 「SMDA」のデータをクラウドにアップロードする（例：Dropboxを使用）

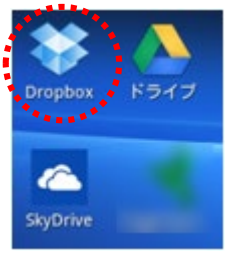
メニューから [共有]をタップし、クラウドにアップロードするファイル名を選択します。
使用している「クラウド名称」をタップして、クラウドの操作方法に基づき[アップロード]して下さい。



② クラウドのデータを「SMDA」にダウンロードする

Android端末の画面から、対象の「クラウド名称」をタップし、ダウンロードするファイルを選択します。
クラウドの操作方法に基づき操作して下さい。

「Dropbox」使用例



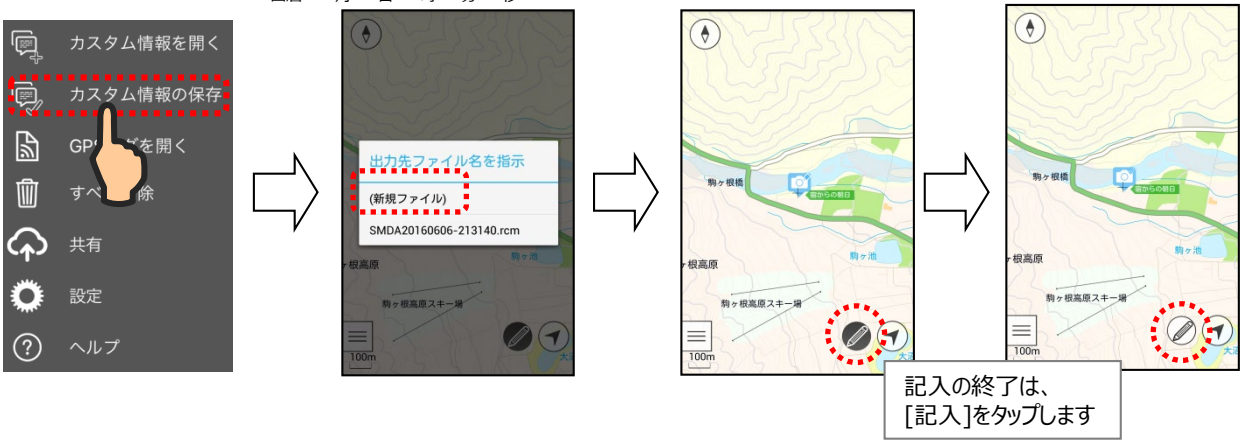
■情報を記入、保存する

① 新規に情報を記入します。
[記入]ボタンをタップし、記入する場所を長押しして[はい]を選択します。記入画面の[名称]欄をタップし、名称を記入します。
ソフトキーボードの 次へ をタップし、[メモ]欄に必要な情報などを記載します。　例:Samsung日本語キーボード使用

② 画像を取り込む場合は、「NO IMAGE」欄をタップし、[アルバム] を選択し、表示するアプリを選択して、画像を選択します。次に、[登録]をタップすると記入が完了します。

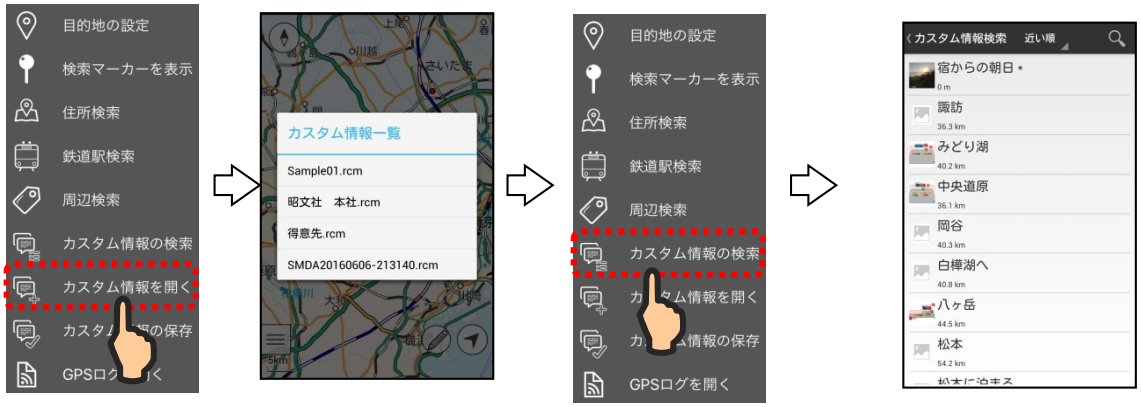
[写真を削除] は、表示写真を削除しますが、保存されているデータは削除されません。
[写真を撮る] は、カメラ機能搭載のAndroid端末であれば、直接カメラから写真を取り込むことができます。

③ メニューから[カスタム情報の保存]を選択し、[出力ファイル名を指示]から[新規ファイル]を選択します。
ファイル名は、SMDAyyyymmdd-hhmmss.rcmというルールで付けられます。
西暦　月　日　時　分　秒

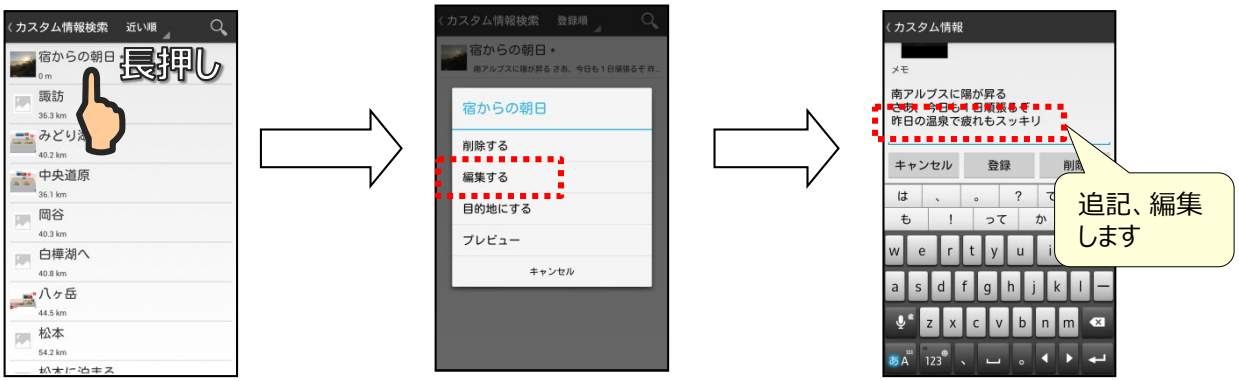


■SMDA形式の既存のカスタム情報ファイルに情報を追加、編集、上書き保存する

① 情報内容に追記、編集するには、[カスタム情報を開く]から該当のファイルを選択し、[カスタム情報の検索]から編集する「カスタム情報」を選択します。

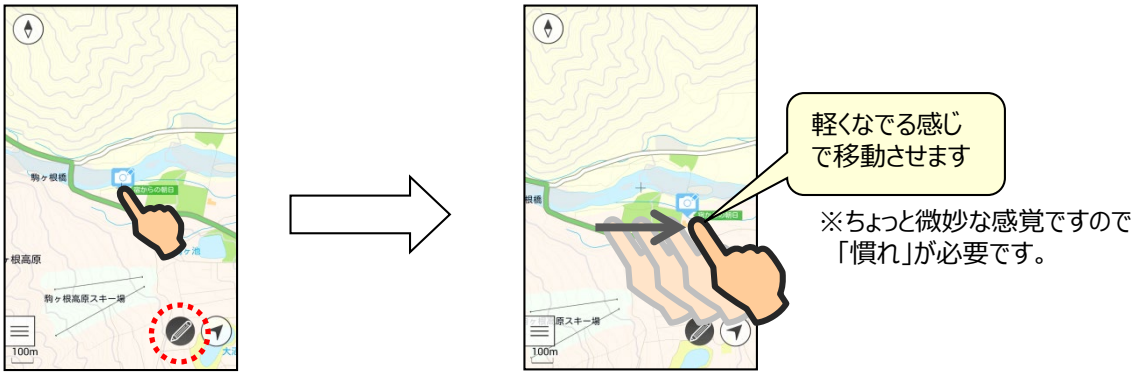


② 該当のカスタム情報を「長押し」し、「編集する」をタップします。
追記、編集後に「登録」をタップします。



編集終了後、[カスタム情報の保存]をタップし、取り込んだファイル名をタップすると上書きします。

③ 情報の位置を修正するには、[記入モード]で該当アイコンの上を軽くなでる感じで移動させます。



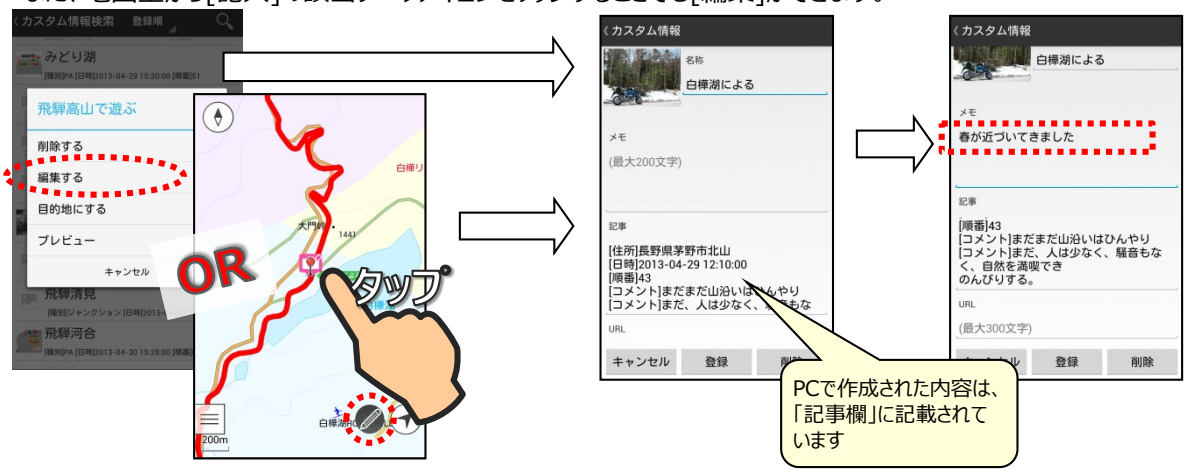
※ちょっと微妙な感覚ですので「慣れ」が必要です。

■SMD形式のカスタム情報ファイルに、「SMDA」で情報を追加、編集、上書き保存する

【重要】パソコンで行った「カスタム情報(SMD形式)」は、元データの保全のため変更されません。
別途SMDA形式として保存されます。

① メニューのから［カスタム情報を開く]をタップし、［カスタム情報一覧］から「sample01.rcm」を選択します。

② メニューのから[カスタム情報の検索]で編集する情報を「長押し」で表示し、[編集する]をタップします。
編集可能な画面が表示されるので、[メモ欄]をタップし入力し、[登録]します。
また、地図上から[記入]の該当データアイコンをタップすることでも[編集]ができます。



③ 編集終了後は、メニューの[カスタム情報の保存]で、保存されます。
SMDA形式で保存されるためファイルは新規に作成され、ファイル名はSMDAyyyymmdd-hhmmss.rcmというルールで付けられます。
西暦　月　日　時　分　秒

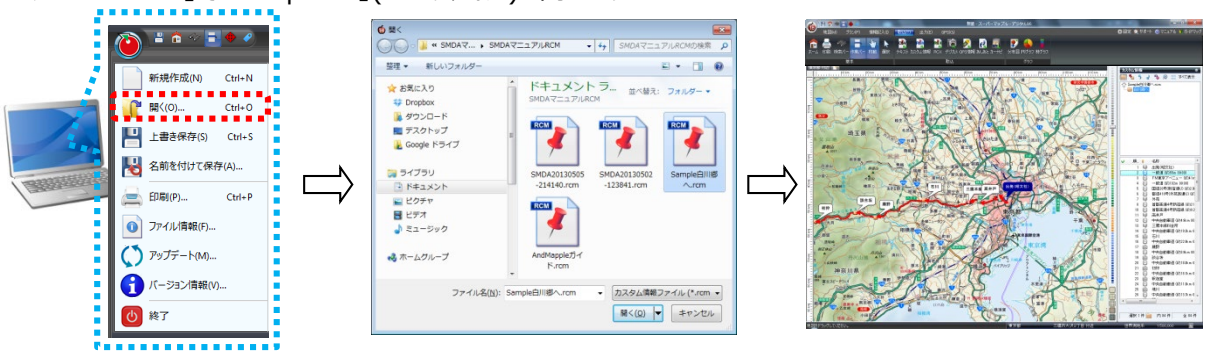
「プレビュー」画面で内容確認できます。

※パソコンで作成されたSMD形式のファイル名は、[出力先ファイル名を表示]欄には表示されません。
パソコンで作成された元データの安全管理のため、Android端末でのデータ内容の更新はできないようになっております。

■「SMDA」の情報を「SMD」に追加する

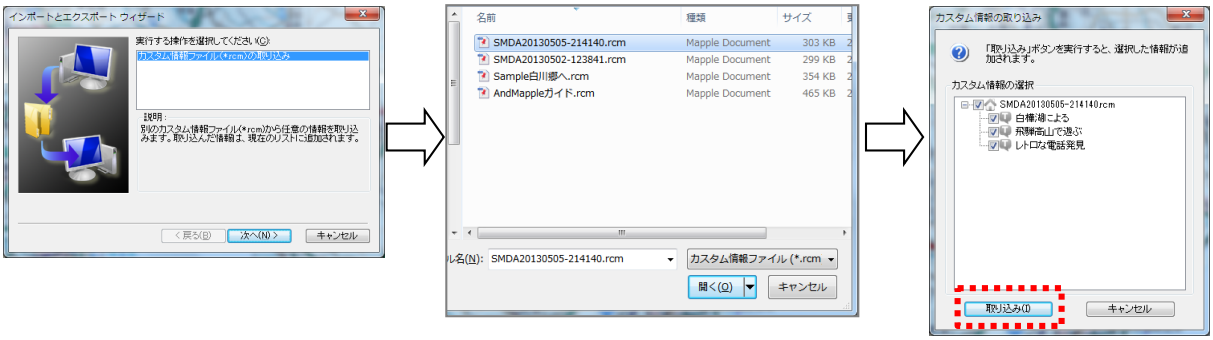
例:「sample01」ファイルに追加した
情報や新規に記入した情報を追加します

① パソコンの「SMD」で「sample01」(rcmファイル)を開きます。

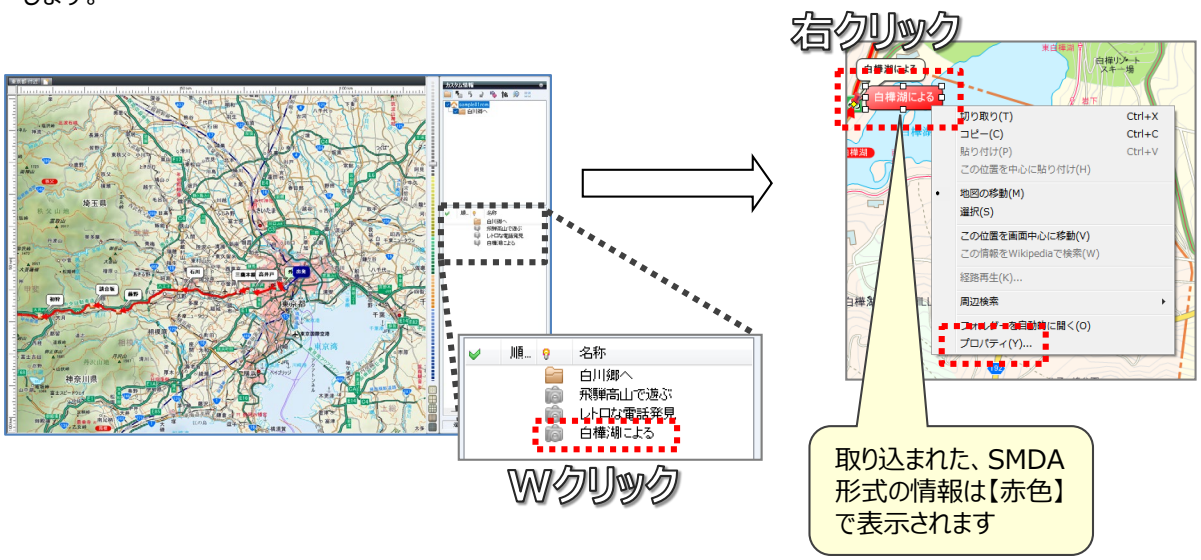


② 「SMDA」で出力したファイルを、[取込]の[カスタム情報]で取り込みます。

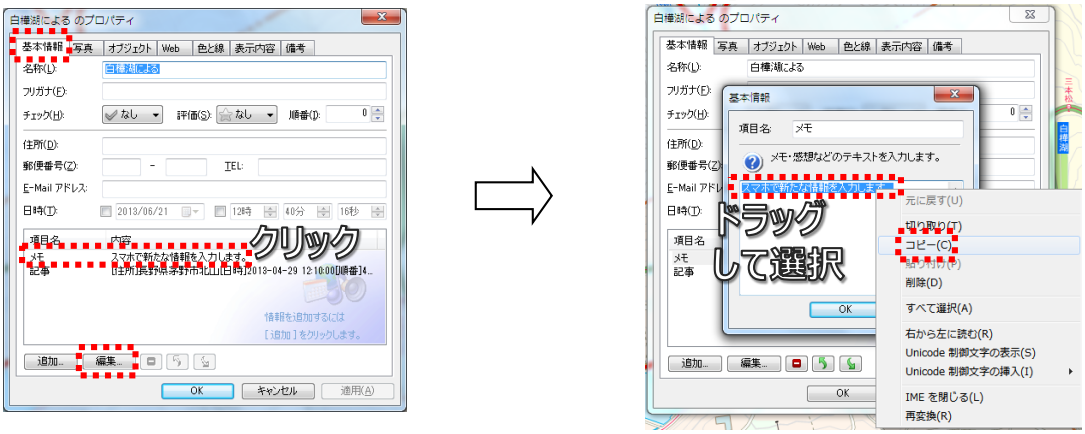
③ [インポートとエクスポートウイザード]の[次へ]をクリック後、SMDA形式のファイルを選択し、[取り込み]をクリックします。



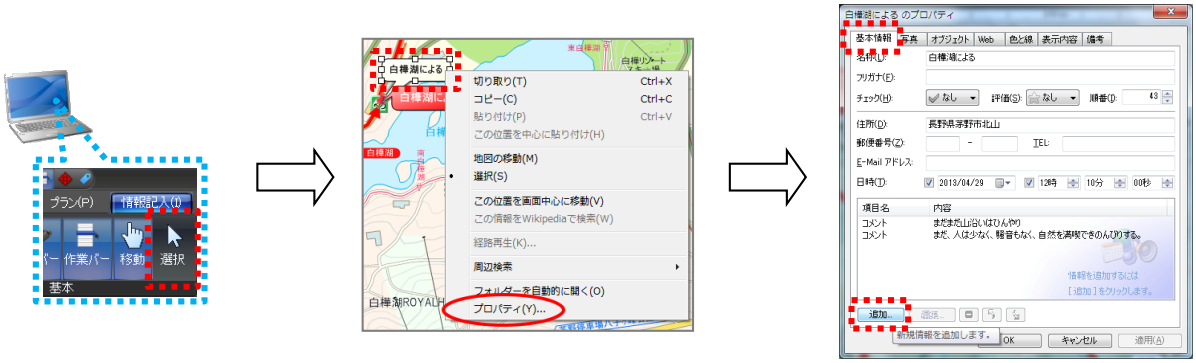
④ カスタム情報欄「白樺湖による」をダブルクリックし、赤色アイコンの「白樺湖による」を右クリックで「プロパティ」を選択します。



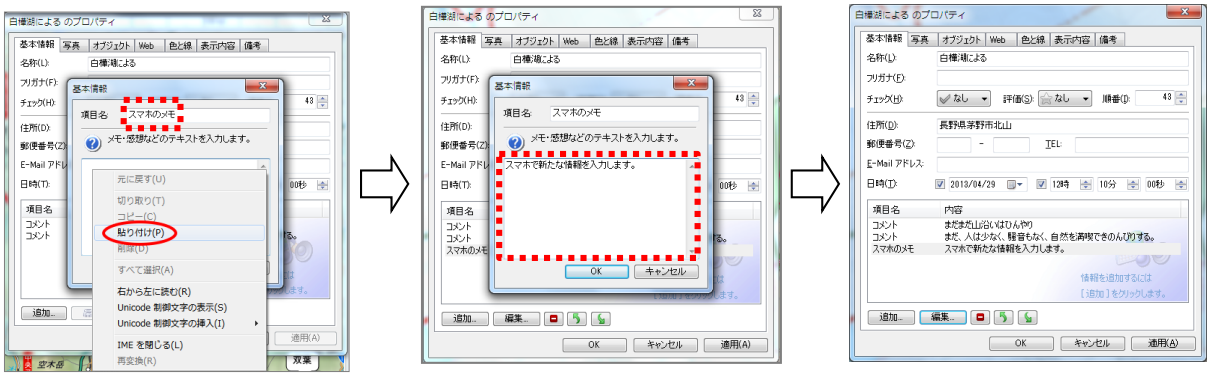
⑤「白樺湖による」のプロパティの[基本情報]タブにある[項目名][メモ](「SMDA」で記入された内容)をクリックし、[編集]を選択します。
「SMDA」で記入したテキストをドラッグして選択し、右クリックで[コピー]を選択します。



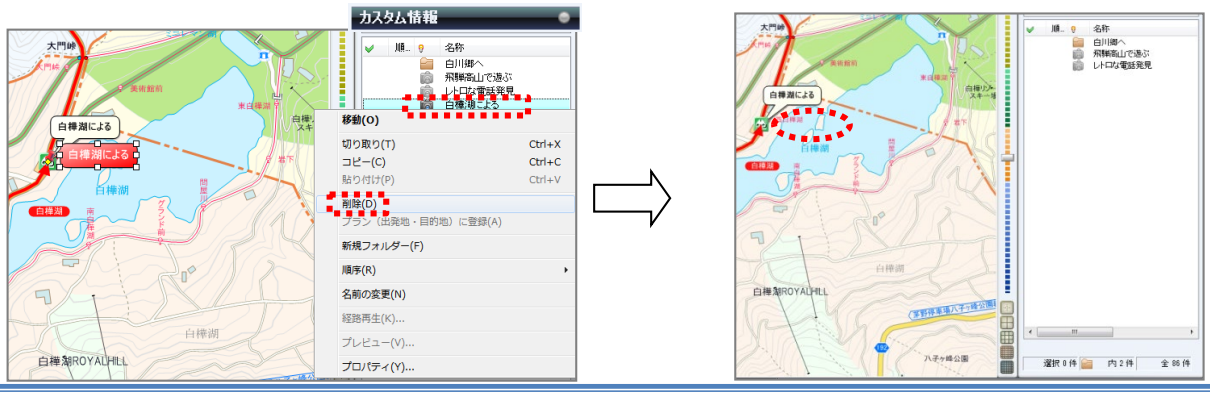
⑥「SMDA」のデータを「SMD」に追加・編集します。
まず、SMDのリボン[情報記入]タブの[基本]グループの[選択]をクリックします。「白樺湖による」の白色アイコンを右クリックし、[プロパティ]を開きます。「白樺湖による」のプロパティで、[基本情報]タブの[追加]をクリックします。



⑦ 項目名欄に「項目名」を入力し(例:スマホのメモ)、[テキスト入力]欄で右クリックし、⑤でコピーしたテキストを[貼り付け]して[OK]すると情報が追加編集されます。

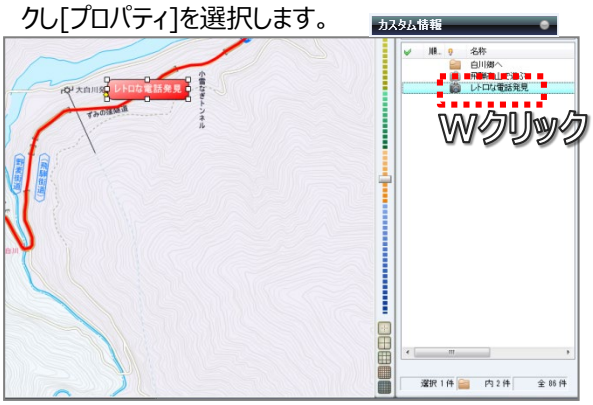


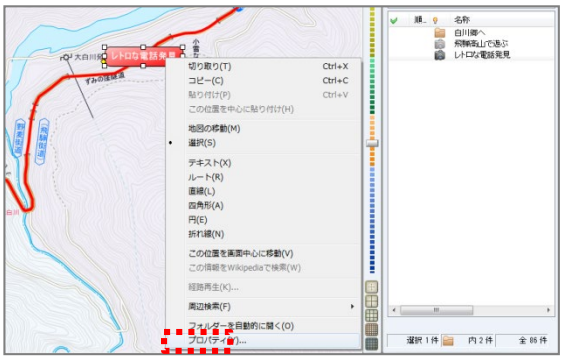
⑧ 不要になった「SMDA」の情報は、カスタム情報欄の名称の上で右クリックし、削除できます。



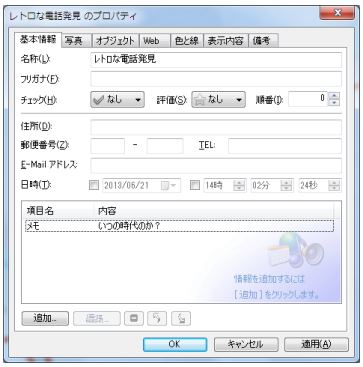
■新規情報を「SMD」に追加、編集する

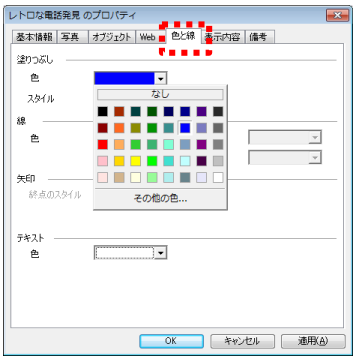
① カスタム情報欄の「レトロな電話発見」をダブルクリックします。次に、「カスタム情報」の赤色アイコンの上で右クリックし[プロパティ]を選択します。

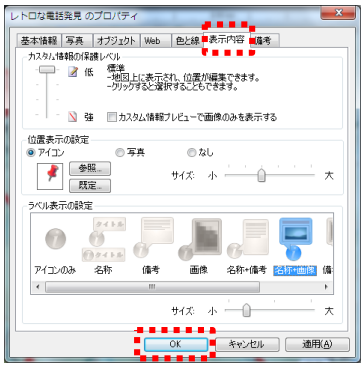




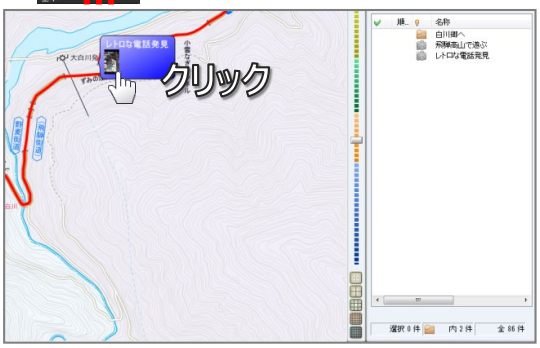
② SMDA形式のデータをSMD形式で編集します。
「レトロな電話発見」のプロパティの[色と線]タブでアイコンとテキストの色を、[表示内容]タブも任意の内容で設定します。

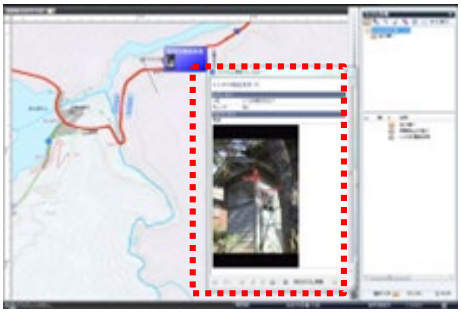






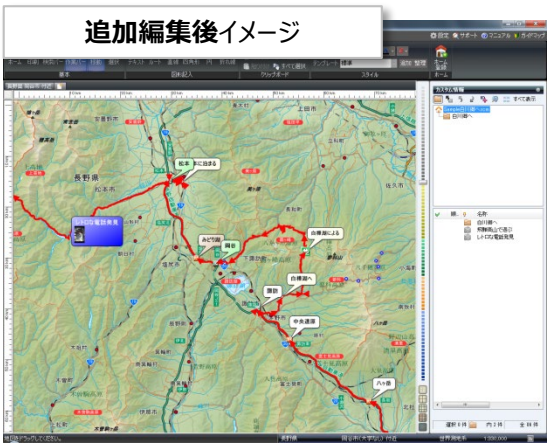
③ を選択しカスタム情報をクリックすると、内容をプレビューで確認できます。





追加編集前イメージ

追加編集後イメージ



■Android端末側の各種設定

① メニューから[設定]を選択します。

②項目内容の初期設定を確認し、必要な場合は変更してください。

☑すると、ホームポジションの位置にホーム画像が表示されます。

☑すると、カスタム情報テキストにラベルが表示されます。

☑すると、地図画面左側に拡縮ボタンが表示されます。

地図をドラッグしたり、カスタム情報をタップしたりする時の感度を調整します。数値が小さいほど敏感に反応するようになります。

地図データが表示されない場合、タップし地図が収録されている場所を入力ます。
使い方は（Ｐ20）参照

本体の画面設定が表示されます。画面の明るさなどを調整したりします。

地図に表示するGPS軌跡の長さを、[なし/標準/長め]から選択できます。

☑にすると、GPS衛星情報を記録します。(GPSがONの場合)

☑にすると、GPS起動中は常に画面が表示されるが、バッテリー消費量が大きくなります。

☑すると、標高・速度などの現在地取得状況が画面上に表示されます。(GPSがONの場合)

☑すると、GPSの受信状況を表示します。

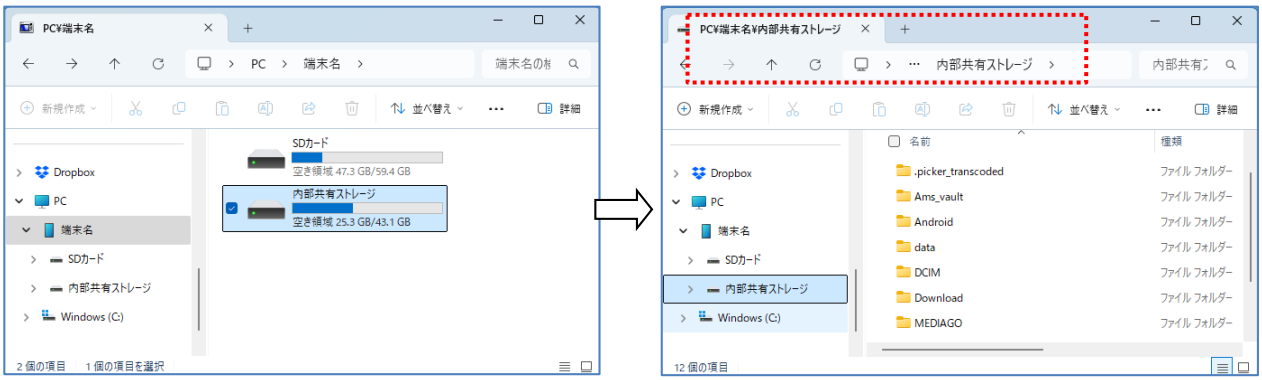
☑すると、NMEAデータから日時・位置・高さ情報を記録します。□にすると、NMEAデータすべてを記録しますが、ログファイル容量が大きくなるのでご注意ください。

このアプリのバージョン情報が表示されます。

■参考: 地図の収録がうまくいかず、表示されない場合

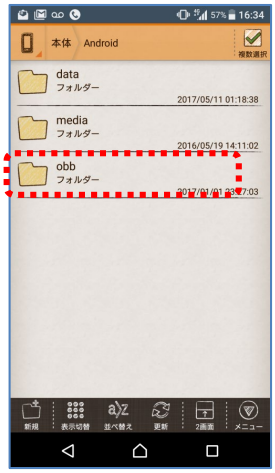
Android 11以降では外部ストレージへのデータ収録では動作いたしません。**内部共有ストレージに収録してください。**
また、OSのバージョンや各メーカーの仕様等により、「パス」の名称や仕組みなどが異なることがあります。Android 10以前の機種でも、外部ストレージに地図データを格納した場合に地図が利用できないことがありますので、データは内部ストレージに収録することをお勧めします。

① パソコンから出力した「Android」フォルダーを「SDカード」ではなく、「内部共有ストレージ」に格納してください。



② パソコンから出力した「Android」フォルダーを「右クリック」し、「内部共有ストレージ」に「Android」フォルダーを「貼り付け」ます。※「上書き」メッセージが出ましたら、上書きしてください。

③ 地図がまだ表示されない場合は、「本体/Android」フォルダー内にある「obb」フォルダーを削除して下さい。

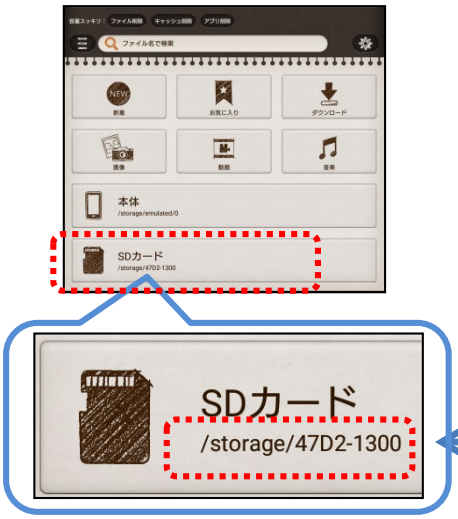


■Android11以前で、外部ストレージに収録したい場合は、下記を参考にしてください。

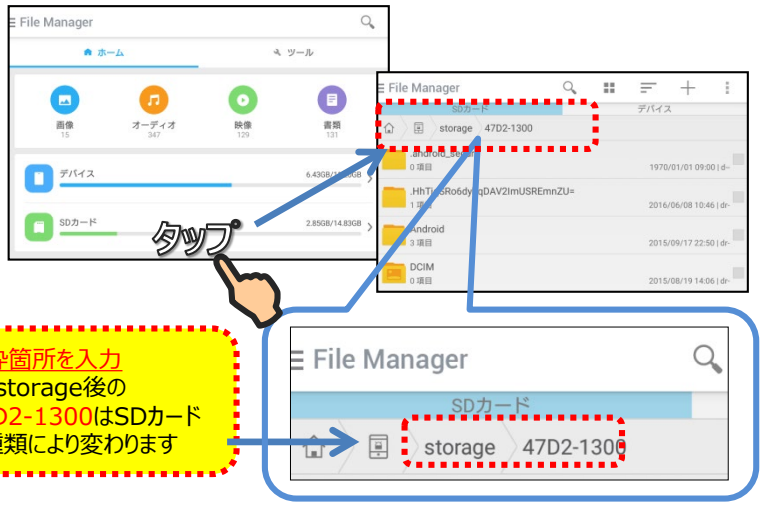
※ 機種によっては、外部のSDカードを利用できない場合があります。
前ページの③に記載した「フォルダー」を削除することで、動作改善の事例もありますが、
内部ストレージへの収録をお願いいたします。

① 地図データを外部SDカードに収録した箇所（収録パス）をファイルマネージャなどで確認します。

【例：Yahoo!ファイルマネージャー】

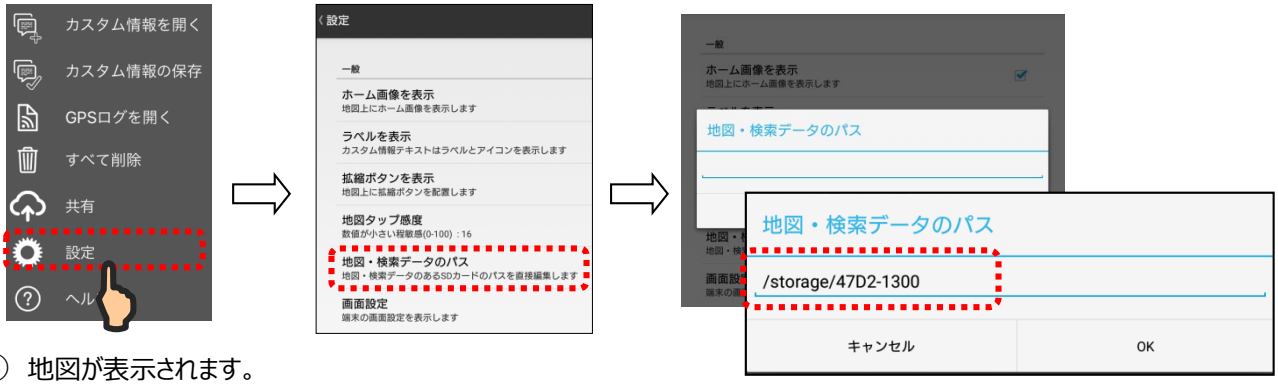


【例：ファイルマネージャー】

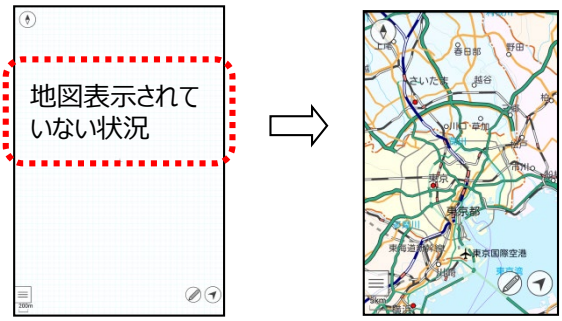


【ご参考】ファイルを管理する無料のアプリケーションもありますので、それらを使うことも可能です。

② ☰ メニューから[設定]の[地図・検索データのパス]をタップし、確認した「パス」を入力し、「OK」をタップします。



③ 地図が表示されます。



注意事項
製品名及び社名などは、各社の商標または登録商標です。

以上